

長期使用製品安全点検制度をご存じですか？ ～製品の長期使用に伴う事故にご注意ください～

平成 19 年に発生した小型ガス湯沸器の経年劣化による事故を背景に、所有者自身による保守が難しく、また、住宅などに設置して長期間使用されるため経年劣化による事故が発生するおそれが高い 9 製品（以下「特定保守製品」という。）を対象に、平成 21 年 4 月から「長期使用製品安全点検制度（別紙 1 参照）」が始まりました。



(図) 共通ロゴマーク

平成 21 年 4 月以降に製造・輸入された特定保守製品 9 品目をお持ちの方は、同制度に基づいて製造・輸入事業者にも所有者情報を登録を行うと、適切な時期に点検の通知が届きますので、事業者による点検を受けるとともに、必要に応じて整備・修理を行ってください。また、制度開始以前に製造・輸入された既販品についても、事業者による点検を受けることが可能です。

■ 特定保守製品 一覧^{*1}

屋内式ガスふろがま（都市ガス、LPガス）、屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス、LPガス）、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機、浴室用電気乾燥機、ビルトイン式電気食器洗機

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{*2}では、特定保守製品^{*3}の事故は平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間に合計 914 件^{*4}あり、このうち 10 年以上使用した製品の事故は 540 件（59.1%）ありました。この 540 件の被害状況は「死亡」5 件、「軽傷」26 件、「拡大被害^{*5}」206 件、「製品破損」等 303 件となっています。特定保守製品は、燃焼機器、暖房、温水系の設備機器が含まれるため、特に発煙、発火等を伴う事故が多く、死亡や火災などの重大な被害に至るおそれもあるため、注意が必要です。

■ 主な事故事例

- 屋内式ガスふろがまの長期使用（使用期間約 17 年）の間に生じた結露水等の影響によって点火不良が生じ、点火操作を繰り返したことで機器内に未燃ガスが滞留して異常着火した。
- 石油ふろがま（使用期間約 16 年）内部にスス等の異物が堆積して異常燃焼が生じ、エラー表示が出ていたが、リセットを繰り返して使用を続けたため異常燃焼が継続して出火した。
- ビルトイン式電気食器洗機の長期使用（使用期間約 20 年）によるドア開閉の繰り返いで、ドア下部の内部配線に半断線が生じ、ショートして火災が発生した。

特定保守製品の事故は、長期使用に伴う経年劣化に加え、誤使用や不注意によって発生したものも多数あります。これらの事故は、定期的な点検・保守の実施や日常的な清掃等によって未然に防止できるものが多数あります。

11月は経済産業省の「製品安全総点検月間」です。製品安全に関する取り組みの強化月間に合わせ、「長期使用製品安全点検制度」の再度の周知徹底を図り、対象製品の登録を推進し、制度実施以前の製品の安全点検を促進し、誤使用事故も含めた経年劣化に関わる事故を未然に防止するため、今般注意喚起を行うこととしました。



安全とあなたの未来を支えます

- (※1) 本文中では、屋内式ガスふろがま（都市ガス、LPガス）と屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス、LPガス）はまとめて記載する。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※3) 長期使用製品安全点検制度の施行以前に製造・輸入された特定保守製品も含む。
- (※4) 平成27年9月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※5) 製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

1. 事故の発生状況

特定保守製品の事故は、平成22年度～平成26年度までの5年間に合計914件あり、このうち、使用期間が判明したもので10年以上使用した製品の事故は540件ありました。

(1) 年度別 事故の発生件数

図1に「年度別 事故発生件数」の推移を示します。

10年以上使用した特定保守製品の事故は減少傾向にありますますが、毎年100件前後発生しています。

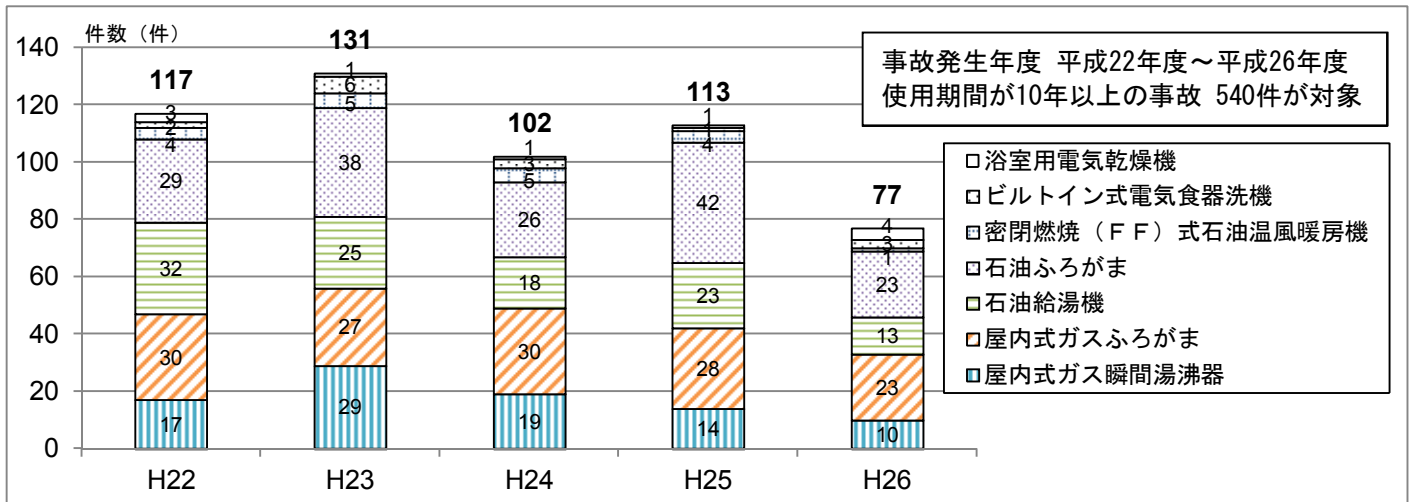


図1 年度別 事故発生件数

(2) 月別 事故発生件数

図2に「月別 事故発生件数」を示します。

特定保守製品は、屋内式ガス瞬間湯沸器や石油ふろがま等の燃焼機器が対象に含まれているため、秋～冬にかけて事故件数が増加しています。

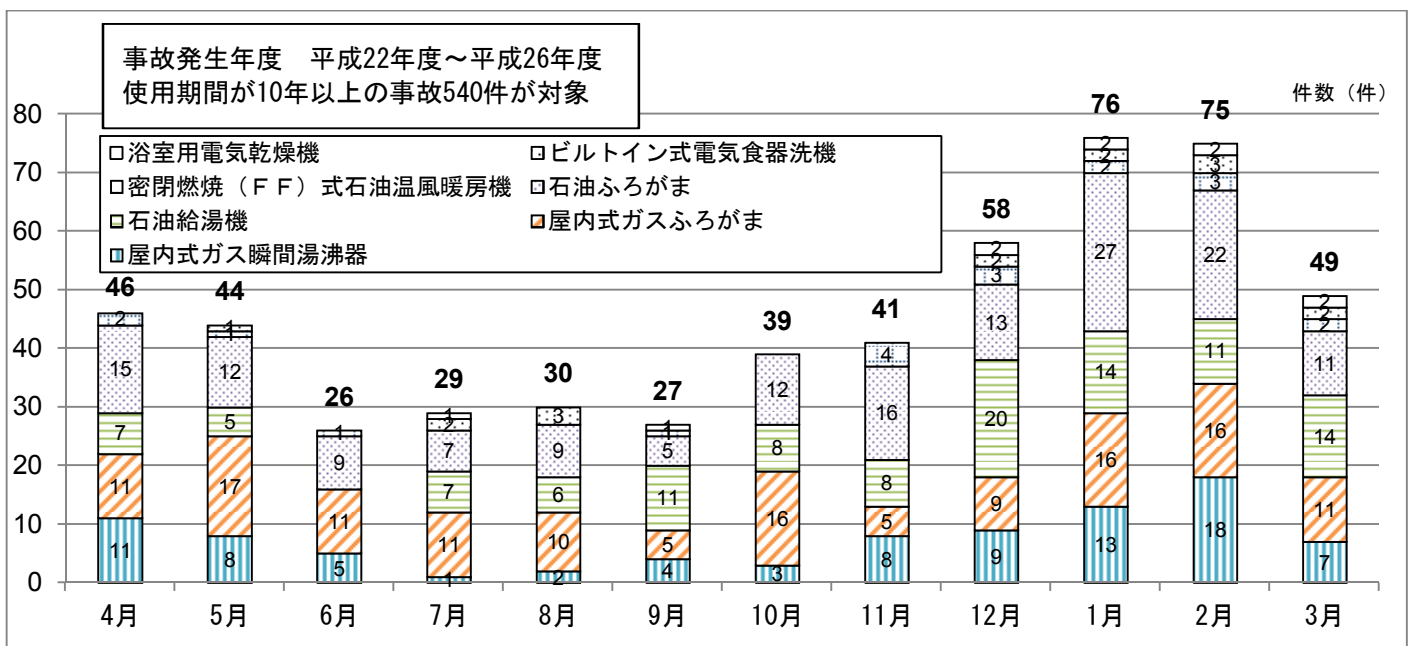


図2 月別 事故発生件数

(3) 製品別 被害状況

表1に「製品別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

製品別に見ると、石油ふろがまによる事故が最も多く発生158件(29.3%)あります。

特定保守製品は、燃焼機器、暖房、温水系の設備機器が含まれるため、特に発煙、発火等を伴う事故が多く、死亡や火災などの重大な被害に至るおそれがあります。

表1 製品別 被害状況別 事故発生件数^{※6}

製品の種類		被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
ガス機器	屋内式ガス瞬間湯沸機 (都市ガス、LPガス)	1 (1)		10 (19) [2]	16 [9]	60 [6]	2 [1]	89 (20) [18]		
	屋内式ガスふろがま (都市ガス、LPガス)	1 (1)		7 (7)	20 [15]	109 [11]	1	138 (8) [26]		
	小計	2	0	17	36	169	3	227		
石油機器	石油給湯機	1 (1) [1]		1 (1) [1]	46 [43]	62 [54]	1	111 (2) [99]		
	石油ふろがま	1 (1)		6 (6) [6]	100 [95]	51 [50]		158 (7) [151]		
	密閉燃焼 (FF) 式石油温風暖房機	1 (2) [1]		1 (1)	13 [11]	4 [2]		19 (3) [14]		
	小計	3	0	8	159	117	1	288		
電気機器	ビルトイン式電気食器洗機			1 (1) [1]	6 [6]	8 [4]		15 (1) [11]		
	浴室用電気乾燥機				5 [5]	5 [3]		10 (0) [8]		
	小計	0	0	1	11	13	0	25		
合計	事故件数	5	0	26	206	299	4	540		
	被害者数	(6)	(0)	(35)				(41)		
	火災件数	[2]	[0]	[10]	[184]	[130]	[1]	[327]		

(※6) 平成27年9月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(4) 使用期間別 事故発生件数

図3に「使用期間別 事故発生件数」を示します。

このうち、使用開始から20年以上経過して発生した事故も151件(28.0%)あり、長期間にわたって事故が発生しています。

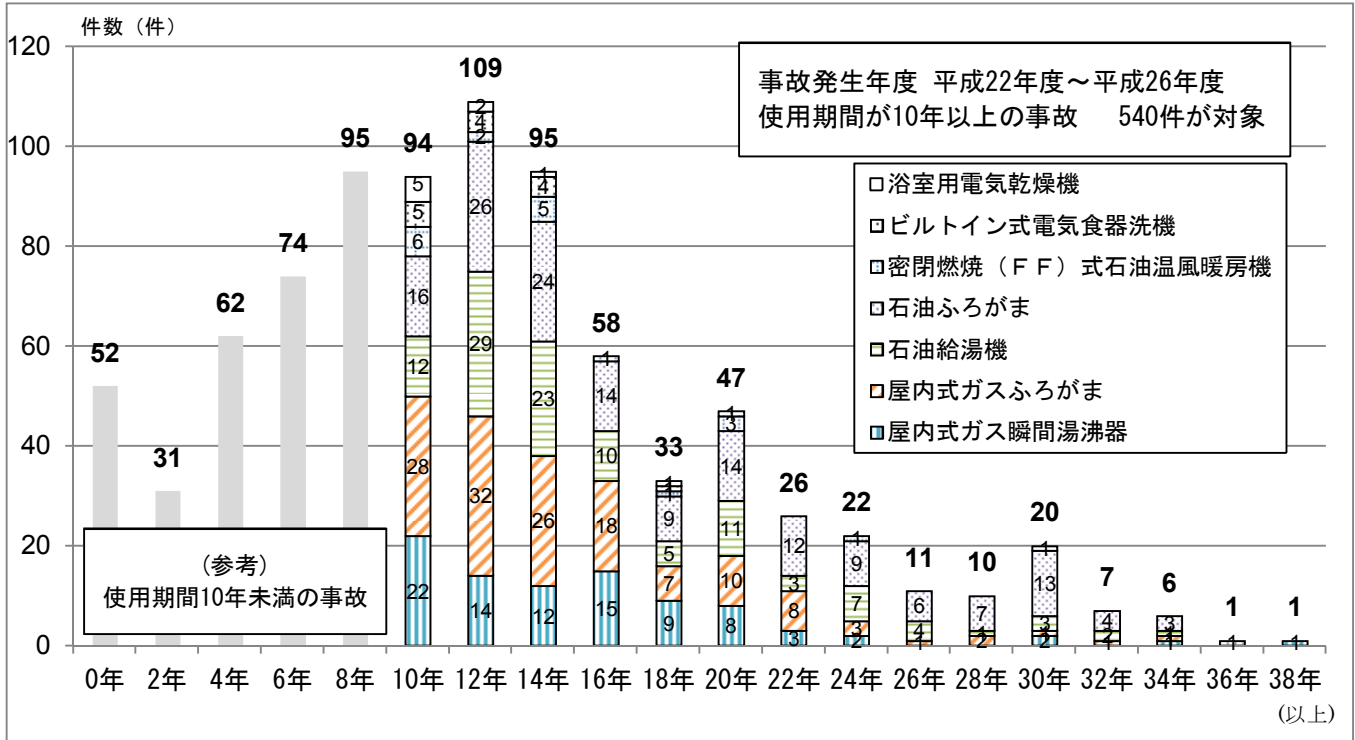


図3 製品の使用期間別 事故発生件数

(5) 原因区分別 事故件数

① 原因区分別 事故件数

使用期間が10年以上の特定保守製品の事故540件について、図4に「事故原因区分別 事故件数」を示します。

事故原因区分（別紙2参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分A、B、C、G3） 200件（37.0%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分D、E、F） 190件（35.3%）
- 原因不明のもの（事故原因区分G3を除くG） 113件（21.0%）
- 調査中のもの（事故原因区分H） 37件（6.7%）

となっています。

「事故原因区分E:誤使用や不注意によるもの」が120件（22.3%）と最も多く発生していますが、このなかには水漏れや腐食等、長期使用に伴う経年劣化によってエラー表示が出た状態で使用を継続して事故に至った事例等も含まれています。

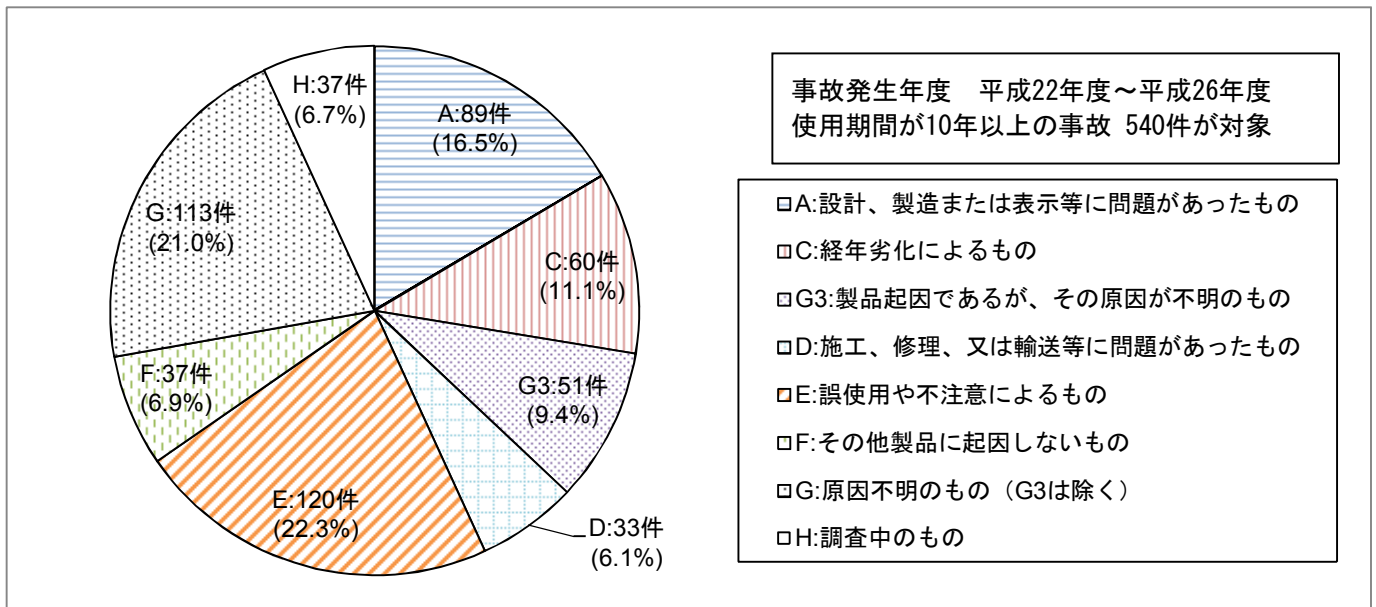


図4 事故原因区分別 事故件数（単位：件）

② 原因区分別 被害状況

表 2 に「原因区分別 被害状況」を示します。

表 2 原因区分別 被害状況^{※6}

被害状況 事故原因区分		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの				28 [24]	61 [50]		89 (0) [74]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの							0 (0) [0]
	C: 経年劣化によるもの			2 (2) [1]	29 [28]	29 [13]		60 (2) [42]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの				21 [19]	30 [25]		51 (0) [44]
	小計 (事故件数)	0	0	2	78	120	0	200
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送等に問題があったもの			1 (2)	19 [18]	13 [7]		33 (2) [25]
	E: 誤使用や不注意によるもの	2 (2) [1]		7 (8) [2]	38 [33]	72 [7]	1 [1]	120 (10) [44]
	F: その他製品に起因しないもの	2 (2)		8 (12) [4]	11 [10]	15 [5]	1	37 (14) [19]
	小計 (事故件数)	4	0	16	68	100	2	190
G: 原因不明のもの (G3 を除く)		1 (2) [1]		5 (5) [2]	43 [35]	62 [12]	2	113 (7) [50]
H: 調査中のもの				3 (6) [1]	17 [17]	17 [11]		37 (6) [29]
合計	事故件数	5	0	26	206	299	4	540
	被害者数	(6)	(0)	(35)				(41)
	火災件数	[2]	[0]	[10]	[184]	[130]	[1]	[327]

(※6) 平成 27 年 9 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 事故の現象別被害状況及び事故の事例

(1) 現象別被害状況

① ガス機器による事故

表 3-1 に「ガス機器の現象別 被害状況」を示します。

製品に起因する「C:経年劣化によるもの」と判断されたものは、21 件あります。

また、「機器内部の冠水や結露等の影響で点火不良が生じ、点火操作を繰り返して未燃ガスが滞留し異常着火が発生した」事故 61 件等、長期使用に伴う製品の劣化や不具合を伴っているが、最終の事故原因区分では「誤使用 (E:区分)」等と判断された事故も発生しています。

表 3-1 ガス機器（屋内式ガス瞬間湯沸器、屋内式ガスふろがま）の現象別被害状況※6

現象	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡被大害	製品破損		
C: 経年劣化によるもの (表 4 参照)				1 (1)	3 [3]	17 [3]		21 (1) [6]
事故原因区分 D F	機器内部の冠水や結露等の影響で点火不良が生じ、点火操作を繰り返して未燃ガスが滞留し異常着火が発生した				5 [3]	55	1	61 (0) [3]
	排水の詰まり等によって機器が冠水した状態で使用したため、部品の腐食や炎溢れが生じて異常燃焼				3 [2]	18 [3]		21 (0) [5]
	バーナーや熱交換器、排気筒等にススやホコリ、油分、蜘蛛の巣等の異物が付着して異常燃焼・異常着火	1 (1)		3 (4)		4	1 [1]	9 (5) [1]
	故障状態・エラー表示が出たまま使用を継続して異常燃焼			2 (2)	1 [1]	1 [1]		4 (2) [2]
	その他(安全装置を改造した状態で使用したため空焚き、換気が不十分な状態で使用して CO 中毒等)	1 (1)		6 (11)	11 [8]	14 [6]		32 (12) [16]
小計 (事故件数)		2	0	12	23	109	2	148
A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの					1 [1]	7 [2]		8 (0) [3]
G: 原因不明のもの (G3 を除く)				3 (3)	8 [2]	47 [2]	1	59 (3) [4]
H: 調査中のもの				2 (5)	4 [4]	6		12 (5) [4]
合計	事故件数	2	0	17	36	169	3	227
	被害人数	(2)	(0)	(26)				(28)
	火災件数	[0]	[0]	[2]	[24]	[17]	[1]	[44]

② 石油機器による事故

表 3-2 に「石油機器の現象別 被害状況」を示します。

製品に起因する「C:経年劣化によるもの」と判断されたものが最も多く、29 件あります。

次いで、石油ふろがまにおいて「空焚き防止装置のない製品を使用して、ふろがまが空焚き状態となり過熱して異常着火」が多く 14 件あります。

石油機器の事故は火災を伴うものが非常に多く、264 件（91.7%）あります。

表 3-2 石油機器（石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼(FF)式石油暖房機）の現象別被害状況^{※6}

現象	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
C: 経年劣化によるもの（表 4 参照）				1 (1) [1]	20 [19]	8 [7]		29 (1) [27]
事故原因区分 D、F	空焚き防止装置のない製品を使用して、ふろがまが空焚き状態となり過熱して異常着火（石油ふろがま）			1 (1) [1]	10 [10]	3 [3]		14 (1) [14]
	故障状態・エラー表示が出たまま使用を継続して異常燃焼			1 (1) [1]	11 [11]			12 (1) [12]
	周囲の可燃物に引火した	1 (1) [1]		1 (1) [1]	3 [3]			5 (2) [5]
	その他(定期的な部品交換を行わず劣化して燃料漏れ、使用方法を誤り異常燃焼等)	1 (1)		2 (2) [1]	44 [41]	32 [31]		79 (3) [73]
小計（事故件数）		2	0	6	88	43	0	139
A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの					25 [21]	54 [48]		79 (0) [69]
G: 原因不明のもの（G3 を除く）		1 (2) [1]		1 (1) [1]	34 [32]	12 [9]	1	49 (3) [43]
H: 調査中のもの				1 (1) [1]	12 [12]	8 [8]		21 (1) [21]
合計	事故件数	3	0	8	159	117	1	288
	被害人数	(4)	(0)	(8)				(12)
	火災件数	[2]	[0]	[7]	[149]	[106]	[0]	[264]

③ 電気機器（ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機）による事故

表 3-3 に「電気機器の現象別 被害状況」を示します。

製品に起因する「C:経年劣化によるもの」と判断されたものが最も多く、10 件あります。

次いで、ビルトイン式電気食器洗機において「回転式ノズルの手入れ後、挿入が不完全だったため外れてヒーター上に倒れ溶融」が多く、2 件発生しています。

電気機器による事故は石油機器と同様に火災を伴うものが多く、19 件（76.0%）あります。

表 3-3 電気機器（ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機）の現象別被害状況^{※6}

現象		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
		C: 経年劣化によるもの（表 4 参照）				6 [6]	4 [3]		10 (0) [9]
事故原因区分 D、F		回転ノズルの手入れ後、挿入が不完全だったため、外れてヒーター上に倒れ溶融（ビルトイン食器洗機）					2		2 (0) [0]
		その他（内部配線に接触不良が生じてショート等）				1 [1]	1		2 (0) [1]
		小計（事故件数）	0	0	0	7	7	0	14
		A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの				2 [2]			2 (0) [2]
		G: 原因不明のもの（G3 を除く）			1 (1) [1]	1 [1]	3 [1]		5 (1) [3]
		H: 調査中のもの				1 [1]	3 [3]		4 (0) [4]
合計	事故件数		0	0	1	11	13	0	25
	被害人数		(0)	(0)	(1)				(1)
	火災件数		[0]	[0]	[1]	[11]	[7]	[0]	[19]

(2) 経年劣化による事故（原因区分C）の現象別 被害状況

「1. (5) 原因区分別 事故件数」で示した「事故原因区分 C: 経年劣化によるもの」による事故 60 件について、表 4 に「経年劣化による事故（原因区分 C）の現象別 被害状況」を示します。

表 4 経年劣化による事故（原因区分 C）の現象別 被害状況^{※6}

現象		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡 被 大 害	製 破 品 損		
ガス機器		Oリングが摩耗・劣化してガス漏れ					5 [1]		5 [1]
		ガスガバナのダイヤフラムに亀裂が生じてガス漏れ					3		3 [0]
		熱交換器が劣化して漏水し機器内部が冠水して燃焼不良					3 [1]		3 [1]
		口火ノズル孔にススやホコリが堆積して燃焼不良			1		1		2 [0]
		その他（圧電素子が劣化し点火不良、バーナーケース蓋に錆が生じ腐食等）				3 [3]	5 [1]		8 [4]
小計（事故件数）			0	0	1	3	17	0	21
石油機器		バーナーノズル等にススやホコリ等の異物が付着して噴霧不良、点火不良				3 [3]	1 [1]		4 [4]
		缶体内部や配管が腐食し異常燃焼				2 [2]	1 [1]		3 [3]
		燃焼用送風器が破損、スス等の付着によって空気不足となり異常燃焼					2 [1]		2 [1]
		土台が腐食し炎が漏れ、周囲を焼損				2 [2]			2 [2]
		その他（Oリングが劣化し燃料漏れ、接続部・シール部が劣化し燃料漏れ等）			1 [1]	13 [12]	4 [4]		18 [17]
小計（事故件数）			0	0	1	20	8	0	29
電気機器 ^{※7}		スイッチ端子部に繰り返しの外力が加わり接触不良が生じ異常発熱				4 [4]			4 [4]
		ドア開閉の繰り返しで内部配線に半断線が生じてショート				1 [1]	2 [2]		3 [3]
		その他（温風吹出口の熱劣化、乾燥用ヒーターのステンレス管が腐食等）				1 [1]	2 [1]		3 [2]
小計（事故件数）			0	0	0	6	4	0	10
合計		事故件数	0	0	2	29	29	0	60
		火災件数	[0]	[0]	[1]	[28]	[13]	[0]	[42]

(※7) ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機の2品目。

(3) 主な事故事例

- ① 屋内式ガスふろがまの点火操作繰り返しで未燃ガスが滞留して異常着火
平成 22 年 3 月 19 日（東京都、製品破損、使用期間約 17 年 9 か月）
【事故の内容】
屋内式ガスふろがまの点火操作を繰り返したところ、異音と異臭がし、ケーシングの一部が変形した。
【事故の原因】
長期使用に伴い生じた結露水等の影響により、点火し難い状況となり、点火操作を繰り返したことで機器内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作によって異常着火したものと推定される。
- ② 石油給湯機の長期使用に伴う経年劣化でノズル等にススが付着し、噴霧不良等が生じて異常燃焼
平成 23 年 1 月 11 日（福岡県、製品破損、使用期間約 22 年）
【事故の内容】
石油給湯機を使用中、ブレーカーが作動し、異臭がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。
【事故の原因】
長期使用により、ノズルおよび点火電極にススが付着し点火性が悪くなっていたところ、再点火を繰り返して使用していたことから、燃焼室内に未燃焼灯油がたまり、たまった灯油に着火したため異常燃焼が発生してバーナー外側へ延焼したものと考えられる。
- ③ 石油ふろがまを故障状態・エラー表示が出たまま使用を継続して異常燃焼
平成 26 年 4 月 4 日（北海道、拡大被害、使用期間約 16 年）
【事故の内容】
石油ふろがまを使用中に製品から出火して、製品及び周辺を汚損した。
【事故の原因】
製品の外郭には、焼損などの異常が認められなかったが、熱交換器のフィンには多量のスス詰まりが認められた。
石油ふろがまが異常燃焼を検知してエラー停止していたが、使用者がリセットを繰り返して使用を続けたため、異常燃焼が継続して事故に至ったと考えられる。
- ④ ビルトイン式食器洗機の長期使用に伴う経年劣化で内部配線が断線してショート
平成 25 年 3 月 15 日（愛知県、製品破損、使用期間約 20 年）
【事故の内容】
ビルトイン式電気食器洗機を使用中、製品を焼損する火災が発生した。
【事故の原因】
ビルトイン式電気食器洗機の長期使用によるドア開閉の繰り返しで、ドア下部の内部配線に半断線が生じ、絶縁被覆が劣化してショート、スパークが発生したため、出火に至ったと推定される。

(2) 日常的に点検・清掃を行う

事故を防止するため、日常的な整備も重要です。取扱説明書の指示に従い、こまめに点検・清掃を行ってください。

(主な例)

- 屋内式ガスふろがまや石油ふろがま周辺の排水口に詰まりが無いか
- ビルトイン式電気食洗機においてヒーター一部周辺に汚れが無いか

(3) 機器に異常を感じた場合は使用を中止する

製品の使用時に次のような異常が見られるときは、使用を中止し、お買い求めの販売店または製造・輸入事業者にご相談してください。

[共通]

- 腐食や亀裂、変形など、外観に異常がある
 - 異音がする
 - 焦げ臭いにおいなどの異臭がする
 - スイッチを入れても反応しない、エラー表示が出る等動作に異常がある
- ※ 機器本体やリモコンにエラー表示等が出た場合は、使用を中止して、取扱説明書の指示に従ってください。

[燃焼機器]

- ガス漏れや灯油漏れが発生している
 - ガス臭、灯油臭などの異臭がある
 - 追い焚きに時間がかかる等の動作異常がある
 - 燃焼機器の点火時に、数回点火操作を行っても点火しない
- ※ 数回で点火できない場合は、漏れたガスに引火して異常着火するおそれがありますので、換気を行い、時間をおいてから再度点火してください。

4. リコール製品による事故の防止

(1) リコール製品による被害状況別 事故件数

表5に「リコール製品による被害状況別 事故件数」を示します。

使用期間10年以上の特定保守製品の事故540件のうち、リコール^{※10}製品による事故は138件ありました。このうち104件はリコール実施後に発生したものと なっています。

[主な事故の事例]

- 石油給湯器の電磁弁に使用されているOリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが生じて漏れた油に引火し、周辺を焼損する火災が発生した。（使用期間 約16年）
- 屋内式ガスふろがまのガスガバナに使用されているダイヤフラムに亀裂が生じ、ガスが漏れてバーナーの炎に異常着火。（使用期間約15年）

リコールが行われた製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談してください。

表5 リコール製品による被害状況別 事故件数^{※11}

製品の種類	被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
屋内式ガス瞬間湯沸機 (都市ガス、LPガス)				1 (1)					1 (1)
屋内式ガスふろがま (都市ガス、LPガス)					6 (4)				6 (4)
石油給湯機				17 (15)	41 (39)				58 (54)
石油ふろがま				33 (24)	28 (15)				61 (39)
密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機									0 (0)
ビルトイン式電気食器洗機			1 (1)	4 (1)	3 (1)				8 (3)
浴室用電気乾燥機				3 (3)	1				4 (3)
合計	0 (0)	0 (0)	1 (1)	58 (44)	79 (59)			0 (0)	138 (104)

(※10) リコールには消費者への注意喚起を含む。

(※11) 平成27年9月30日現在、重複、対象外情報を除いたリコール製品による事故発生件数。

()はリコール実施後に発生した事故件数。

(2) リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989年度）以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

特定保守製品のリコール情報について、別紙3に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。

※ ガス・石油機器については、（一社）日本ガス石油機器工業会ホームページで検索を行うことができます。（<http://www.jgka.or.jp/recall/index.html>）
検索サイトを利用する場合は、「JGKA リコール」等の単語で検索してください。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当者 池谷、西澤

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

長期使用製品安全点検制度

「長期使用製品安全点検制度」は、製品の経年劣化による事故を未然に防止するための制度として、平成21年4月から施行されました。

所有者自身による保守が難しく、長期使用に伴う経年劣化によって重大事故が発生するおそれが高い9品目の製品（以下「特定保守製品」という。）の所有者に対して、製造・輸入事業者（以下「特定製造事業者等」という。）が点検などの保守を支援する制度です。

■ 長期使用製品安全点検制度の対象製品（特定保守製品）※1

屋内式ガス用瞬間湯沸器（都市ガス用、LPガス用）、屋内式ガスふろがま（都市ガス用、LPガス用）、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機、浴室用電気乾燥機、ビルトイン式電気食器洗機

（※1）平成21年4月以降に製造・輸入された製品が対象。

（1）長期使用製品安全点検制度統一ロゴマーク



長期使用製品安全点検制度への理解を深めるため、特定保守製品の取扱説明書や所有者票、特定製造事業者等ホームページにおいて、上記のロゴマークが使用されています。

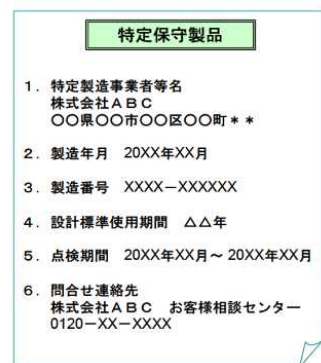
（2）製品情報の表示

特定保守製品には、製品本体に以下のような製品情報が表示されます。

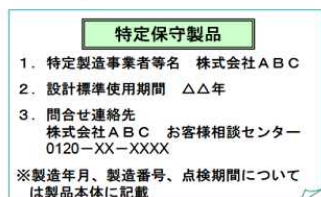
また、製品本体が天井や屋外に設置されるなど、表示が見えにくくなってしまう場合は、製品本体とともに遠隔操作装置（リモコン）などにも表示されています。

- 特定製造事業者等の氏名又は名称及び住所
- 製造年月
- 設計標準使用期間
- 点検期間の始期及び終期
- 点検その他の保守に関する問合せを受けるための連絡先
- 製造番号などの特定保守製品を特定するに足る情報

製品本体の表示のイメージ



遠隔操作装置の表示のイメージ



（右図）製品情報の表示イメージ

(3) 所有者情報の登録～点検実施の流れ

① 所有者情報を登録する

特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して所有者情報を提供する義務があります※2

所有者情報を登録※3することによって、特定製造事業者等は、点検時期や適切な保守に関する通知を行うことが可能になります。

(※2) 賃貸住宅、アパートにおいて家主が特定保守製品を設置した場合は、家主が所有者登録を行う。

(※3) 所有者登録は、所有者登録票を販売者に渡す、特定製造事業者等へ郵送するほか、特定製造事業者等のホームページからでも登録が可能。

② 点検を実施する

所有者情報の登録を行った所有者に対して、点検期間※4が開始する6か月前から点検期間開始日までの間に、点検通知が送られます。

製品を安全に使用するため、必ず点検※5を受けてください。

(※4) 点検期間は、設計上の標準使用期間の終期を挟んで1年以上3年以内の幅をもって定められる。

(※5) 省令別表第二で定められる点検基準に適合しているかどうかを確認するものであり、整備・修理等は含まない。また、点検は有償。

(4) 販売事業者等、関連事業者の責務

① 販売事業者等の責務

販売事業者等…

特定保守製品の販売事業者、特定保守製品を設置した住宅生産者（建築請負業者）、不動産販売業者、リフォーム業者等

販売事業者等は、特定保守製品を購入者（所有者）に引き渡す際に、所有者票に記載されている事項を説明する義務があります。

特定保守製品の設置・修理事業者を他の事業者等に委託等する場合は、その事業者に対し、本制度の所有者への説明等により、所有者情報の登録促進に取り組んでいただくようご周知ください。

② 関連事業者の責務

関連事業者…

特定保守製品の設置・修理事業者、不動産取引仲介事業者、ガス・電気・石油供給事業者等

関連事業者は、特定保守製品の点検、所有者情報の必要性などを所有者に伝える責務があります。

販売事業者等から委託を受けて特定保守製品の設置・修理事業者は、販売事業者等に協力して、本制度の所有者への説明等より、所有者情報の登録推進に取り組んでください。

(5) 制度導入の背景^{※6}

平成19年2月の小型ガス湯沸器に係る死亡事故等、製品の経年劣化が主因となる重大な事故が発生しており、市場出荷後の製品につき経年劣化による事故を未然に防止するための措置の必要性が認識されるに至りました。

このため、第168回臨時国会において、「消費生活用製品安全法の一部を改正する法律（平成19年法律第117号）」が成立し、平成19年11月21日に公布され、消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれが高いものについて、経年劣化による製品事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度（長期使用製品安全点検制度）が設けられました。

改正後の消費生活用製品安全法（昭和48年法律第31号）は平成21年4月1日に施行されました。

（※6） 経済産業省「消費生活用製品安全法等に基づく長期使用製品安全点検制度及び長期使用製品安全表示制度の解説～ガイドライン～」より引用

(6) 所有者情報の登録状況^{※7}

（※7） 経済産業省 平成27年5月22日 産構審第3回製品安全小委員会資料「平成26年度製品安全政策に関する取り組み状況について」より引用

表 特定保守製品の所有者情報登録状況（平成27年3月時点）

	所有者情報登録 累計件数（千件） （前年同期）	製造・輸入 累計台数（千台） （前年同期）	登録率（%） （前年同期）	26年度 登録率
屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス）	925（784）	1,919（1,633）	48%（48%）	49%
屋内式ガス瞬間湯沸器（液化石油ガス）	586（496）	1,778（1,511）	33%（33%）	34%
屋内式ガスふろがま（都市ガス）	388（330）	712（615）	54%（54%）	59%
屋内式ガスふろがま（液化石油ガス）	72（61）	219（189）	33%（32%）	35%
石油給湯機	889（731）	2,197（1,854）	41%（39%）	46%
石油ふろがま	68（58）	187（162）	36%（36%）	42%
密閉燃焼式石油温風暖房機	328（267）	1,051（879）	31%（30%）	36%
ビルトイン式電気食洗機	1,152（903）	3,243（2,670）	36%（34%）	43%
浴室用電気乾燥機	1,335（1,027）	4,109（3,312）	33%（31%）	39%
	5,741（4,657）	15,416（12,286）	37%（36%）	42%

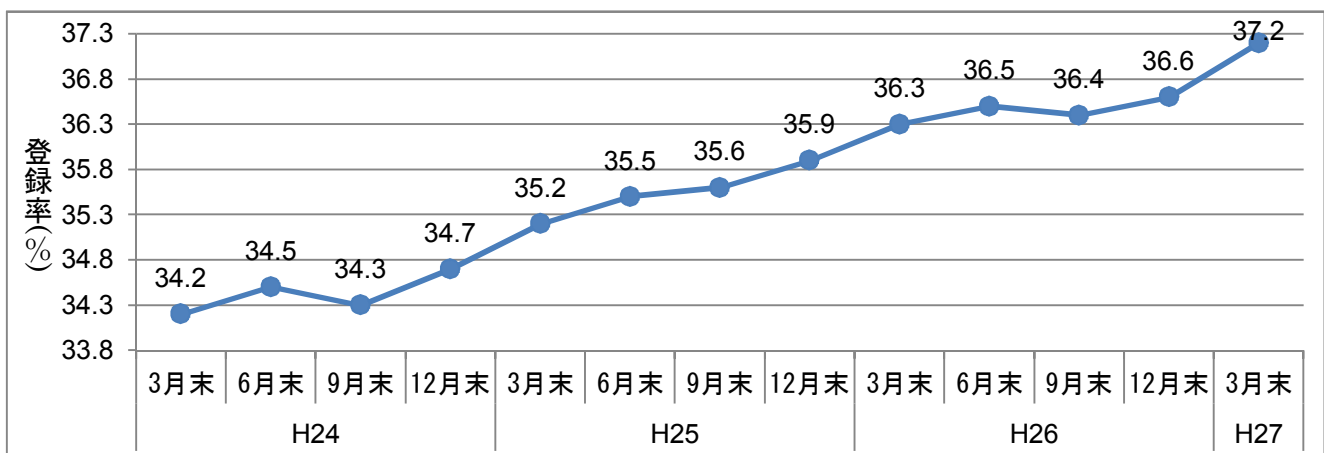


図 所有者情報の登録率の推移

(7) 参考

- 「消費生活用製品安全法改正について」
http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/07kaisei.html
- 「あなたは大丈夫？冬の製品事故」(政府広報オンライン)
<http://www.gov-online.go.jp/featured/201101/index.html>
- 「あなたの家の製品は大丈夫？長期使用製品安全点検・表示制度」
(政府インターネットテレビ)
<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg11441.html>

【参考】長期使用製品安全表示制度

長期使用製品安全点検制度と同時に、長期使用製品安全表示制度が平成 21 年 4 月に施行されました。

長期使用製品安全表示制度では、特定保守製品 9 品目と比較して経年劣化による重大事故の発生確率は高くないものの、長期間使用されることが多い製品 5 品目について、「製造年」「設計上の標準使用期間」を定めることが義務づけられています。



【製造年】 20××年
 【設計上の標準使用期間】△△年
 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります

- 対象製品 (5 品目)
 扇風機、エアコン、換気扇、洗濯機 (洗濯乾燥機を除く)、ブラウン管テレビ

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表 事故原因区分一覧

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

公表日	品名	事業者名称	社告内容
1997/6/12	ガス給湯器	東陶機器(株)	[型式・機種等] カスタムμ16: RGH16WCVNB、RGH16WCHNB 東邦ガス向け: RGH16WCHNB(UICO-16)(UICO-16(N)) トリコン24: RGH24SBVB、RGH24SBDB、RGH24SBSB、RGH24JBVB、RGH24JBDB、RGH24JBSB、RGH24MBVB、 RGH24MBDB、RGH24MBSB、RGH24HBVB、RGH24HBDB、RGH24HBSB、RGH24UBVB、RGH24UBDB、RGH24UBSB、 RGH24LBVB、RGH24LBDB、RGH24LBSB、RGH24ABVB、RGH24ABDB、RGH24ABSB、RGH24FBEB、RGH24FBDB、 RGH24FBSB、RGH24GBVB [URL] http://www.toto.co.jp/News/yupro/gus_1997.htm
2007/2/12 再社告 2007/10/9 2008/10/7 2009/12/22	開放式小型湯沸器	リンナイ株式会社	[製品名及び型式] リンナイ(株) RUS-5RX、RUS-51BT 東京ガス(株) RN-405SD 東邦ガス(株) RI-5SH 西部ガス(株) RUS-5RX 北海道ガス(株) KRN-685C 京葉ガス(株) KRN-0111 北陸ガス(株) HRN-395A 東芝設備機器(株)(現:東芝キャリア(株)) HPG-52S、HPG-52DS、HPG-52S-K、HPG-52S、HPG-52DS-K、 (株)日立ホームテック(現:日立アプライアンス(株)) GCD-508S タカラスタンダード(株) TUS-5RX [URL] http://www.rinnai.co.jp/safety/kyutou/index.html
1992/3/4	シャワー付バランス型ガス風呂釜 (浴室内設置タイプ)	リンナイ(株)	[型式・機種等] RBF-20SS型、RBF-21S型、RBF-21S、RBF-16S、RBF-16SR、 RBF-15SR2、RBF-15SRW、RBF-7S2、RBF-7SW、RBF-8S、 RBF-22S、RBF-23S、RBF-820A [URL] http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/index.html
2006/7/15 再社告 2006/7/19 2006/10/3 2007/1/31 2008/7/5	ガス給湯器	パロマ工業株式会社	[製品名及び型式] 屋内設置型湯沸器 PH-81F、PH-82F、PH-101F、PH-102F、PH-131F、PH-132F、PH-161F [URL] http://www.paloma.co.jp/important/info_safety/2006/200607.html
2006/12/12	ふろ釜	東京ガス株式会社	[製品名及び型式] シャワー付BFふろ釜 KG-813BFA-FXS、KG-813BFA-FXSH1、KG-813BFA-FXSH2、KG-813BFA-FXSM1、KG-813BFA-FXSM2 (製造:株式会社ガスター) [URL] http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20061212-01.html
2006/12/13	ふろ釜	大阪ガス株式会社	[製品名及び型式] シャワー付BFふろ釜 32-876型、32-877型、32-878型、32-879型 (製造:株式会社ガスター) [URL] http://www.osakagas.co.jp/oshirase/furo.html

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2007/4/19	風呂がま(追いだき専用)	東京ガス株式会社	<p>[製品名及び型式等] 風呂がま(追いだき専用) ST-913RFA(平成9年6月～平成18年5月 3,379台)、 ST-912RFBシリーズ(平成10年5月～平成18年5月1,140台)、 ST-9150CFS(平成11年10月～平成18年5月 162台)合計 4,681台 [URL] http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html</p>
2007/8/2	シャワー付バランス型ふろ釜	株式会社 ガスター	<p>[製品名及び型式等] 寒冷地向けシャワー付バランス型ガスふろ釜 ※製品名が「対象製品名」で、かつガス種が「対象ガス種」の機器が該当製品。 製造元 株式会社ガスター 販売会社/ブランド 株式会社ガスター、株式会社INAX/YUMEX SR-3SK1*、SR-3K1* リンナイ株式会社/Rinnai RBF-3SK1* 北海道ガス/KITAGAS KGA-760BF*、KGA-761BF*、KRN-761BF* ガス種 5C/6A、L1(6B,6C,7C)、L2(5A,5AN,5B)、L3(4A,4B,4C) ガス種は()内の単独表示もあり。 ※対象製品名の末尾*に英数字が表示されています。 ※該当地域:北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、新潟県、山梨県、長野県、富山県 [URL] http://www.gastar.co.jp/news/pdf/Syakoku20070801.pdf</p>
2007/8/6	ガスふろ釜	株式会社 ノーリツ	<p>[製品名及び型式等] 寒冷地向けシャワー付バランス型ガスふろ釜(GBSQ-815-KR) ※寒冷地向け製品です。 販売ブランド:ノーリツ 対象ガス種:ガス種 L1・L2・L3 ※13A(天然ガス)およびLPガスは対象外になります。 [URL] http://www.noritz.co.jp/info/09.html</p>
2009/2/5	ガスふろがま	株式会社長府製作所	<p>[製品名及び型式] 型式:GF-200D ガス種:LP/製造番号:040142～064540/ ガス種:都市ガス/製造番号:005617～009390 型式:GF-201DE ガス種:LP/製造番号:017147～029121 ガス種:都市ガス/製造番号:005131～008146 ※型式製番シールの場所:GF-200D・201DEの本体正面に型式製番シールがあります。 [URL] http://www.chofu.co.jp/important/20090204.html</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2009/3/6	ガスふろ給湯器	株式会社ノーリツ(製造)(販売) /株式会社日立ハウステック(販売)	[製品名及び型式] 屋内設置型強制給排気式「ガスふろ給湯器」 販売ブランド :ノーリツ 製品型式名:GT-165W-FFA、GT-165AW-FFA、GT-165AWX-FFA [URL] http://www.noritz.co.jp/info/10.html
2011/6/22	密閉式(BF式)ガスふろがま(電池式)	株式会社ガスター(製造)東京ガス株式会社(販売)大阪ガス株式会社(販売)リンナイ株式会社(販売)株式会社長府製作所(販売)	[製品名及び型式] ・YUMEX(ガスターブランド): 都市ガス仕様・LPG仕様 (シャワー付き)SR-ASN-***、SR-ASBN-***、SR-A60SN-***、SR-A60SB2N-***、SR-A60S2N-***、SR-A80SN-***、SR-A80S2N-*** (シャワーなし)ER-ASN-*** ・東京ガスブランド: 全機種都市ガス仕様 (シャワー付き)KG-806BFOシリーズ、KG-706BFOシリーズ、KG-808BFOシリーズ (シャワーなし)KG-912BFDシリーズ、KG-912BFBシリーズ ・大阪ガスブランド機器 (給湯・シャワー付き/都市ガス仕様)531-R940~R945 (おふろ沸かし専用/LPガス仕様)531-R952、R953、R962、R963 ・リンナイブランド: 都市ガス仕様・LPG仕様 (シャワー付き)RBF-A3***、BF-A60S***、RBF-A70S***、RBF-A80S***、RBF-AS*** (シャワーなし)RBF-AERS*** ・長府製作所ブランド: 都市ガス仕様・LPG仕様 (シャワー付き)BFS-638S、858S (シャワーなし)BF-108S [URL] http://www.gastar.co.jp/news/pdf/20110622-1.pdf

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2002/10/24 再社告 2003/6/2 2003/7/22 2003/9/12 2006/12/4 2007/7/9	石油給湯機	東陶機器株式会社／株式会社 ノーリツほか4社	<p>[製品名及び型式等] 石油直圧式給湯機 (販売会社名／ブランド名) 東陶機器株式会社／TOTO (※ 先頭6桁が下記の6製品) RPE32K○○、RPH32K○○、RPE40K○○、RPH40K○○、RPE41K○○、RPH41K○○ 長州産業株式会社／CIC PDF-321V、PDF-401A、PDF-411D-A、DX-411D、PDX-321V、PDX-411D ネポン株式会社／NEPON URA320、URA320S、URB320、URB320S、UR320、UR320S、UR404S 製造期間: 1995年(平成7年)8月から1999年(平成11年)6月まで 株式会社ノーリツ／NORITZ OTQ-302・303・403・305・405シリーズ、OQB-302・403・305・405シリーズ、RC-7001M、RC-7003M、RC-7101M、 RC-7106M、RC-7113M、RC-6003M、RC-6101M、RC-6103M、RC-6206M、RC-6301M、RC-1012M 製造期間: 1997年(平成9年)3月～2001年(平成13年)3月末 高木産業株式会社／パーパス TP-BS320AZR-D、TP-BS320R-D、TP-BS320E-D、TP-BS320F-D、TP-BS402AZR-D、TP-BS402AZF-D、TP-BSQ402R- D、TP-BSQ402R-DS、TP-BSQ402E-D(但し、TP-BS320は除く) 製造期間: 1995年(平成7年)8月～1999年(平成11年)6月 AX-400ZRD 製造期間: 1997年(平成9年)3月～2001年(平成13年)3月 株式会社日立ハウステック HO-350,360,450、KZO-460 製造期間: 1997年(平成9年)7月～2001年(平成13年)3月 [URL](東陶機器株式会社、長州産業株式会社、ネポン株式会社) http://www.toto.co.jp/News/yupro/ (株式会社ノーリツ) http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html (高木産業株式会社) http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html (株式会社日立ハウステック) http://www.housetec.co.jp/2002/10/ho-350.html</p>
2005/1/24 再社告 2006/12/4	石油給湯器	長州産業株式会社／株式会社 ワカサ	<p>[製品名及び型式] 石油直圧式給湯機 ①長州産業(株) PDX-403D、DX-403D、PDF-403D、DF-403D、DX-403DF ②(株)ワカサ WBF-400C ③東京ツチャ販売(株) AX-402A、EX-403A、FK-405A、FC-406A ※ 製品名は、器具本体前面シールに表示。 ※ メインリモコン(台所)からも該当製品がわかります。(リモコンの製品名: RC-17、RC-21M) [URL] (長州産業株式会社) http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html (株式会社ワカサ) http://www.wakasa-e.co.jp/</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2005/3/24	石油給湯器	株式会社長府製作所	<p>[製品名及び型式] ・石油給湯器 IB-422D*、IB-423D*、IB-425DKF、IB-426D*、IBF-422DS、IBF-423DS、IBF-425DK、IBF-426DS、IBF-427DS ・強制追焚付石油給湯器 KIB-422D*、KIB-423D*、KIB-425D*、KIB-426D*、KIBF-422D*、KIBF-423D*、KIBF-425DKA、KIBF-426D*、 KIBF-427DSA、KTBF-423DA、SRK-423DXJ ・ファミリースバ FSK-422DS、FSK-423D* [URL] http://www.choFu.co.jp/importAnt/20050324.html</p>
2007/7/28	石油ふろがま・追焚付石油給湯器	株式会社長府製作所	<p>[製品名及び型式等] ・石油ふろがま JK、JK2、JK-N、JPS-T3、JPK-N3、CK-8・8E、CK-9・9E、CK-10・10S、CK-11・11S ・追焚付石油給湯器 JIB-T、JIB-2T、JIB-4、JIB-5*、JIB-6*、JIB-7* (*には英字が入る場合があります) [URL] http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html</p>
2008/9/2	石油直圧式給湯機	(製造)TOTO株式会社/(販売)サンポット株式会社/高木産業株式会社/長州産業株式会社/ネボン株式会社/株式会社パロマ	<p>[製品名及び型式] 販売元:TOTO株式会社(旧:東陶機器株式会社)/ブランド名:TOTO 型式名(品番):RPE33*、RPE43*RPH33*、RPH43* 製造年月:000年5月~2004年8月 販売元:サンポット株式会社/ブランド名:sunpot 型式名(品番):HMG-Q405ASO、HMG-Q405FSO、HMG-405MSO、 製造年月:2001年9月~2004年8月 販売元:長州産業株式会社/ブランド名:CIC 型式名(品番):PDF-412D-Z、PDF-322D、PDF-412D、PDX-322V、PDX-412D、DX-412D 製造年月:2000年9月~2004年8月 販売元:ネボン株式会社/ブランド名:NEPON 型式名(番):URA326B、URB326B、URB406B、UR326B、UR326BS、UR406B 製造年月:2001年1月~2004年8月 販売元:株式会社Paloma/ブランド名:パロマ 型式名(品番):OFH-30*、OFH-40*、OPH-30*、OPH-40* 製造年月:2000年8月~2003年11月 販売元:長府工産株式会社/ブランド名:CHOFUKOSAN 型式名(品番):CKX-430AF、CKX-430AF II、CKX-430AE、CKX-430AE II、CBX-430F、CBX-430E 製造年月:2001年4月~2006年3月</p> <p>[URL] TOTO株式会社 : http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm サンポット株式会社 : http://www.sunpot.co.jp/news/news.php?eid=00021&cate=1 長州産業株式会社 : http://www.choshu.co.jp/2009/0304200824.html ネボン株式会社 : http://www.nepon.co.jp/important/200 株式会社パロマ : http://www.paloma.co.jp/important/info_repair/2008/200809a.html 長府工産株式会社 : http://chofukosan.com/individual/gi/</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2009/9/1	石油給湯機	長州産業株式会社	<p>[製品名及び型式] 石油小型給湯機(本体型式/台所リモコン型式) IX-471DH/RC-80M、JX-411DG/RC-80M、MX-471DG/RC-80M、MX-471DH/RC-80M、 PX-411DG/RC-80M、YX-371D/RC-80M 石油給湯機付ふろがま(本体型式/台所リモコン型式/浴室リモコン型式) IF-471DH-A/RC-82M/RC-82A、JF-411DG/RC-81M/RC-81F、JF-411DG-A/RC-82M/RC-82A、 MF-471DH-A/RC-82M/RC-82、APF-411DG/RC-81M/RC-81F、PF-411DG-A/RC-82M/RC-82A [URL] http://www.choshu.co.jp/modules/information/</p>
2005/4/21 再社告 2005/11/30 2005/12/6 2005/12/7 2006/9/15	石油温風暖房機	松下電器産業株式会社	<p>[製品名及び型式] FF式石油温風器 OK-2525、OK-3526、OK-4020、OK-302B、OK-402B、OK-2526、OK-3527、OK-4030、OK-303B、OK-403B、OK-2535、 OK-3535、OK-2526HA、OK-2536、OK-3536、OK-3527HA、OK-3525、OK-3537、OK-4020HA 石油フラットラジアントヒーター OK-R500F、OK-R800C、OK-R501F、OK-R800AC、OK-V501F、OK-U501AF [URL] https://sec.panasonic.co.jp/appliance/info/heating/index.htm</p>
2007/9/11	石油ストーブ	東芝テクノネットワーク株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社	<p>[製品名及び型式等] 密閉式石油ストーブ(排気管はずれ検知装置付き) ・石油温風ヒーター MSPシリーズ(1機種) MSP-322S KSPシリーズ(30機種) KSP-32L、KSP-32LB、KSP-32G、KSP-32G1、KSP-32GB、KSP-32GB1、KSP-32H、KSP-32HB、 KSP-32W、KSP-32WB、KSP-A37、KSP-A37B、KSP-45LD、KSP-45LD1、KSP-45LDB、KSP-45LDB1、KSP-45CD、 KSP-45CDB、KSP-45HD、KSP-45HDB、KSP-A52D、KSP-A52DB、KSP-C52D、KSP-C52DB、KSP-70GDB、 KSP-70GDB1、KSP-80KDB、KSP-A93DB、KSP-43CD、KSP-43CDB DSPシリーズ(15機種) DSP-352S、DSP-502S、DSP-702S、DSP-353S、DSP-503S、DSP-703S、DSP-1003S、DSP- 322S、DSP-503B、DSP-703B、DSP-1003B、DSP-354S、DSP-504S、DSP-704S、DSP-1004S ・石油カスタムヒーター THUシリーズ(2機種) THU-F110P-③ THU-F110P-④ ※上記の石油温風ヒーターKSPシリーズのうち、3機種(KSP-A93DB、KSP-43CD、KSP43CDB)は、2007年9月5日の公表 後に判明しましたので追記しています。 ※形名は、「機器正面」、「機器右側面」、「機器正面の操作部」のいずれか一カ所に記載しています。 [URL] http://www.toshiba.co.jp/tcn/news/press070905_j.htm</p>
2004/11/1 再社告 2006/11/1 2007/2/19	電気食器洗い機/電気衣類乾燥機	ボッシュ株式会社	<p>[製品名及び型式] ・電気乾燥機(衣類乾燥機) (1)WTA2300、WTA2910、WTL4100~WTL4610、WTU4200~WTU4600 ・電気食器洗い機(ビルドイン形) (2)幅60Cmタイプ幅 SMI5011~SMI6032、SMS2011~SMS6021、SMU2011~SMU2021、S510 * 上記機種のうち、製造番号がFD6901~FD7212の製品が対象 (3)幅45Cmタイプ SPI5011~SPI6322、SPS2011~SPS6122、P612、P512 [URL] http://www.bosch.co.jp/jp/notice/</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2007/4/13	ビルトイン型食器洗い乾燥機	(製造元)株式会社ハーマンプロ	<p>[製品名及び型式等] ビルトイン型食器洗い乾燥機(販売元) ①ハーマン(FB4503PC、FB4503PF、B4504PC、FB4504PF) ②クリナップ(CWFA-45A)トーヨーキッチン(FB4504PC) ③松下電工、NAIS(QG24EW2、QG24EW2Q、SUE24EW2)④ナスステンレス(EKW-453C、EKW-453D) [確認方法] 銘板製造番号を確認(扉を開けた天井面に貼付) [URL] http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-13.html</p>
2007/4/13	ビルトイン型食器洗い乾燥機	大阪ガス株式会社	<p>[製品名及び型式等] ビルトイン型食器洗い乾燥機 型式 OSAKAGAS 115-5058 の一部 [確認方法] 銘板製造番号を確認(扉を開けた天井面に貼付) [URL]http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2007/070412.html</p>
2008/5/19	ビルトイン型食器洗い乾燥機	TOTO株式会社	<p>[製品名及び型式] 製品名:ビルトイン型食器洗い乾燥機 (ウォッシュアップ エコ) 対象型式 : EUF100 対象製造番号:067*****2A、068*****2A、069*****2A、06X*****2A、06Y*****2A、 06Z*****2A、071*****2A、072*****2A、073*****2A、074*****2A、075*****2A、076*****2A 注**には数字が入ります。 [URL]http://www.toto.co.jp/News/wup_b/index.htm [製品番号及び製造番号の確認方法] 最初に「製品番号」を確認し、該当した場合に「製造番号」をご確認ください。 1. 製品番号をご確認ください。操作パネル左側:電源入/切上部に「TOTO WASHUP EUF100」と表示しています。 注** (EUF100Rと記載した商品は対象外です。) 2. 製品番号が該当していた場合、「製造番号」をご確認ください。 「製造番号」の確認は上記「対象製造番号」を参考にしてください。 3. 「製品番号」及び「製造番号」が該当した場合、ご使用をお控えいただき、上記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2011/6/2	幅30cmビルトイン食器洗い乾燥機 (「長期使用製品安全点検制度」対象製品)	パナソニック株式会社(旧:松下電器産業)	<p>[製品名及び型式] ブランド: National 販売元: (ナショナル) 松下電器産業(株)(現社名: パナソニック(株)) NP-3000BP、NP-3000BW、NP-3000M(フロアタイプ)、NP-U30A1P1 ブランド: 本体にブランド表示なし NP-3000BP-O、NP-3000BW-O、NP-U30A1P1AA ブランド: OSAKA GAS 販売元: 大阪ガス(株) 38-405 ブランド: Cleanup 販売元: クリナップ(株) CWFM-301S、CWFM-30A ブランド: sunwave 販売元: サンウエーブ工業(株) SW-3000、MSW-3011 ブランド: Takara standard 販売元: タカラスタンダード(株) TDW-3000BP、TDW-3000BPN ブランド: TOKYO GAS 販売元: 東京ガス(株) MA-D301 ブランド: TOSHIBA 販売元: (株)東芝、東芝設備機器(株)(現社名: 東芝ホームアプライアンス(株)) BDW-530UP ブランド: TOTO 販売元: 東陶機器(株)(現社名: TOTO(株)) BMW30、KNMW030、KUMW035、KUMW036 [URL] http://panasonic.co.jp/ap/info/important/dishwasher/doc201105.html</p>
2012/8/24	電気食器洗い乾燥機	リンナイ株式会社	<p>[製品名及び型式] ブランド: Rinnai(リンナイ) 機種: RKW-V45A、RKW-V45A-SV、RKW-V45A-GY、PRKW-V45A、PRKW-V45A-SV、RKW-458C、RKW-458C-SV、RKW-458C-G、RKW-458C(A)、RKW-458C(A)-SV、RKW-402A、RKW-402A-SV、TKW-402A、TKW-402A-SV RKW-C401C、RKW-C401C-SV、RKW-C401CSA、RKW-C401CSA-SV ブランド: Clean▲up(クリナップ) 機種: CWPR-45B、CWPR-45BS ブランド: Takara standard(タカラスタンダード) 機種: TKW-V45A、TKW-V45A-SV ※製造番号の詳細な確認方法は下記のURLに掲載されています。 [URL] http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/2012/0824/</p>
2012/9/27	ビルトイン式電気食器洗機	株式会社ハーマン	<p>[製品名及び型式] ブランド: ハーマン 型式: FB4503PC、FB4503PF、FB4504PF、FB4504WC、FB4504WF ブランド: パナソニック(※旧松下電工) 型式: QG24EW2、QG24EW2Q、QGS24EW2、SUE24EW2、SUS24EW2 ブランド: ナスラック(※旧ナスステンレス) 型式: EKW-453C、EKW-453D ブランド: クリナップ 型式: CWFA-45A ブランド: トーヨーキッチン 型式: FB4504PC [URL] http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2012/09/post-16.html</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2012/12/7	食器洗い機	GE Appliances Asia, Ltd(GE)	[製品名及び型式] ブランド名:GE モデル番号:GLD5、GLD6 シリアル番号:FL、GL、HL、LL、ML、VL、ZL、AM、DM、FM、GM、HM、LM、MM、RM、SM、TM、VM、ZM、AR、DR、FR、GR ※今回の修理の対象となるのは、モデル番号とシリアル番号の両方が上記に示された文字で始まっている製品です。 [URL] http://www.ge.com/jp/announcements/rci_dec7_12.html
2005/5/17	浴室換気・乾燥・暖房機	マックス株式会社/マックスシンワ株式会社	[製品名及び型式] Dry・Fan24 (品番/メーカー名) BS-131AH、BS-131H-CX、BS-131HCX-MH、BS-131H-MH/マックス株式会社 BS-131SH3/サンウエーブ工業株式会社、エア・ウォーター・エモト株式会社 BS-131SH3-CX/サンウエーブ工業株式会社 BS-131SH-CX/株式会社日立ハウステック、マックス株式会社 BS-131SHY/ヤマハリビングテック株式会社、エア・ウォーター・エモト株式会社 UFD-14A、UFD-14PA/株式会社 INAX、トステム株式会社 [URL] http://www.max-ltd.co.jp/news/n050517.html
2006/6/22 再社告 2006/8/21	浴室暖房乾燥機	株式会社ハーマンプロ/株式会社ハーマン/株式会社ノーリツ	[製品名及び型式] FD2809F2、FD2809F3、FD2809J2、FD2809J3 (製造:株式会社ハーマンプロ) [確認方法] リモコン型番を確認(下図参照) [URL] http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2006/06/post-4.html http://www.noritz.co.jp/info/3-1.html
2006/6/22 再社告 2006/8/18 2006/8/24 2006/10/30	浴室暖房乾燥機	東京ガス株式会社	[製品名及び型式] BBD-3300ACSK-2、BBD-3300ACSK-3、BBD-3301ACSK-J3、BBD-3302ACSK-J2 (製造:株式会社ハーマンプロ) [確認方法] リモコンを確認(下図参照) [URL] http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20060622-01.html
2006/6/22 再社告 2006/8/18 2006/8/24 2006/10/30 2014/5/29	浴室暖房乾燥機	大阪ガス株式会社	[製品名及び型式] 161-5501、5510、5511型 (製造:株式会社ハーマンプロ) [確認方法] リモコン型番を確認(下図参照) [URL] http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2006/060622_1.html
2007/2/19 再社告 2007/3/13	電気式浴室換気乾燥暖房機(再度のお知らせ)	三菱電機株式会社	[製品名及び型式] V-130BK-RN、V-130BK2-RN、V-130BK2-RN-1、V-106BZ2、V-106BZ3、WD-100BND、V-100BZE-KT [URL] http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/yokushitsukanki/index.html

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2007/7/9	電気式浴室換気乾燥暖房機	TOTO株式会社	<p>[製品名及び型式等] 電気式浴室換気乾燥暖房機 EKK401型、EKK411型、EKK411N1型、TYK100型、TYK101型、TYK100R型、TYK200型、TYK201型、TYK210型 [URL] http://www.toto.co.jp/News/20060630/index.htm</p>
2011/7/12	電気式浴室換気乾燥暖房機	マックス株式会社	<p>[製品名及び型式] 浴室換気・乾燥・暖房機 機種:BS-131SHY ※再確認の対象となるのは、特定の外部委託業者が点検修理作業を行った製品本体の電源線と屋内配線の接続部です。 [URL]http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/owabi_osirase_201107.html</p>
2015/6/3	電気式浴室換気乾燥暖房機	マックス株式会社(製造・販売) トステム株式会社(現 株式会社LIXIL)(販売)	<p>[製品名及び型式] ①ブランド:マックス株式会社 対象品番:BS-101 ②ブランド:トステム株式会社(現 株式会社LIXIL) 対象品番: BS-58H, BS-58HCX (システムバス「レフィノIV」に搭載 または、システムバス「LS」、「レフィノ」シリーズ の修理交換用) [URL] マックス株式会社 http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/oshirase_20150604.html 株式会社LIXIL http://www.lixil.co.jp/warnings/2015/002.htm</p>